

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 20 日 更新

事務事業名		菊池川漁業協同組合参画事業				☐ マニフェスト 関連		☐ 全庁横断 課題関連		☐ 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政 策	6	産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	塚本 健洋		
	施 策	26	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	中元 緑		
	施策の柱	71	関係機関との連携の強化				所属班	農政班	(内線)	5224		
予算科目		会計 一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 11444	根拠 法令					
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	菊池川漁業協同組合の河川清掃、稚魚放流、鮎中間育成、河川監視、河川工事協議、外来魚駆除、縄場入札等の活動等における負担金支払事務。(組合の地区は、菊池市、大津町、合志市、山鹿市、熊本市北区植木町、玉名市、南関町、和水町、玉東町)
【業務の流れ】	負担金交付に係る事務を行う。(負担金請求書受理、兼命令により支払)
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
負担金支払事務		負担金支払事務	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 交付件数		件	
→ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
菊池川漁業協同組合		(単位)	
		→ ア: 漁協組合員	人
		→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
よりよい漁場の整備		(単位)	
		→ ア: 漁業に対する苦情件数	件
		→ イ:	
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
実際に業務として行なうのが総代会への参加と負担金の支払だけだから			
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	523	505	524	469	516	516	516	516
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投 入 費 用	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	175	175	175	175	175	175	175
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	175	175	175	175	175	175	175
		(A)のうち指定経費	千円	175	175	175	175	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	2	3	1	1	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	延べ業務時間	時間	7	6	2	1	2	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	23	7	3	0	0	0
			千円	175	198	182	178	175	175	175

事務事業名	菊池川漁業協同組合参画事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度の後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☒ 達成した 漁業に対する苦情はなかった。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 漁業に関する苦情はないと見込まれる。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似の団体はないが、負担金の支払い事務事業のみのため他の事務事業との統合を検討する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支払いのみなので削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 担当職員の負担金支払事務や総代会の出席のみなので削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 菊池川の河川清掃・氾濫等の活動等にも関するものなので、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 役割分担は適さない。

3 評価結果の総括（CHECK）

負担金の支払いによる参画事業であり、業務遂行に問題はない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							